

石垣市移住・定住支援計画 事業評価一覧
(平成29年度実施分)

※ 評価基準 KPI達成率＝ 80%以上:A 40%以上80%未満:B 40%未満:C

施策の方向性	事業内容	KPI(指標)	目標値	実績値	評価※	付帯意見	見直し	
(1) 移住希望者への効果的な情報発信	移住フェア・移住相談会の開催	移住フェア・相談会の参加者	各30名以上	平均6～7名	C	・KPIに定めている参加者の定義を明確にするか、またはKPIを見直す必要がある。(例:ブース占有時間) ・相談者の追跡調査をし、移住に向けてのどのくらいの方が進んでいるのか見える化にする必要がある。 ・移住相談の対応を市職員以外の方を派遣してはどうか。	○	
	移住ガイドブックの作成	移住関連情報のガイドブックの制作	リーフレット2,000部	移住ガイドブック 1,500部	A	-	—	
	企業ガイドブックの作成			企業ガイドブック 500部			—	
	移住・定住支援ポータルサイトの設置・運営	移住・定住支援ポータルサイトの設置・運営	移住・定住支援ポータルサイトの設置・運営	平成29年度設置	設置	A	-	—
				アクセス回数:毎年度5万回以上	アクセス回数:20,689回	B	-	—
				移住体験ツアーの実施	移住体験ツアーの満足度	満足度80%以上	満足度90%	A
(2) 移住者と地域をつなぐネットワークの構築	移住コンシェルジュの養成	移住コンシェルジュの養成	年間3名	未実施	C	・研修後の活用や運営方法などの仕組みづくりをしっかりと構築し、KPIについても、今後の展開によっては見直す必要がある。 ・次年度養成におけるKPIを設定するのか、または養成の活動に向けて新たなKPIを設定するのか検討が必要である。	○	
	移住者受入体制(地域のネットワークづくり)の構築	移住相談窓口を利用した移住者数	平成31年度以降、年間300件以上	-	—	-	○	
		各地域・集落ごとの世話役の配置	40名以上(各公民館1名配置)	未実施	C	・石垣市自治公民館役員連絡協議会を担当している教育委員会と連携して取り組めれば良いのではないかと。	○	
	移住者支援組織(NPO法人等)の設置	移住支援組織の設置	平成33年度までに設置	-	—	-	○	

※ 評価基準 KPI達成率＝ 80%以上:A 40%以上80%未満:B 40%未満:C

施策の方向性	事業内容	KPI(指標)	目標値	実績値	評価※	付帯意見	見直し
(3) 移住やその後の仕事・住まいの支援	空き家バンクの創設	空き家の改修件数	20件以上(平成29年度)	0件	C	・北部東部地域において、リノベーションをしている家をサンプルとして取り上げて、実態調査をしながら現実的な数値、補助金などを設定し、空き家バンクの制度を構築していく必要がある。	—
		空き家バンクへの物件登録	30件以上(平成29年度)	1件	C		—
	土地の利活用に関する調査・検討	土地の利活用調査	平成29年度実施	実施	A	・土地の利活用調査と遊休農地の利活用調査に関しては、今年度、利活用調査を実施済みなので、次年度に関してはこれを受けて調査結果の分析、結果を報告するにあたり、KPIを再設定の有無については検討する必要がある。	—
	遊休農地の利活用に関する調査・検討	遊休農地の利活用調査	平成29年度実施	実施	A		—
(4) 専門性を有する人材の移住・定住支援	生涯活躍のまち(石垣版CCRC)の導入	石垣版CCRC事業計画の策定	平成29年度中に策定	未策定	C	—	○
	地域おこし協力隊の導入	地域おこし協力隊の導入	毎年度2名採用(任期3年)	2名採用	A	・今後どの分野に入れるのか、導入動機や目的を明確に出す事のほうが大事なのかなと思う。	○
	福祉実習生(保育士・介護士等)の受入れ支援	実習生の受入れ人数	保育施設15名		35名	A	保育士資格取得の専門学校を誘致できた以上、保育施設15名というKPIを継続するのか、または、介護系とかの専門性を有する人材を重点的に受入れしていくのか検討していただきたい。
介護施設10名				1名	C	○	
その他						・協議会の運営について、事前に重点事項を絞り、各委員からKPIの案などを出していただければ限られた時間の中で検討できるのではないか。	